

2015年7月6日

世界初 三菱化学のバイオエンブレ「DURABIO® (デュラビオ®)」が
シャープの新型スマートフォン「AQUOS CRYSTAL 2」の前面パネルに採用

三菱化学株式会社



「AQUOS CRYSTAL 2」



DURABIO®採用箇所

前面パネル

<画像提供:シャープ株式会社>

三菱化学株式会社(本社:東京都千代田区、社長:石塚博昭、以下「当社」)のバイオエンジニアリングプラスチック「DURABIO®」が、シャープ株式会社(本社:大阪市阿倍野区、社長:高橋興三、以下「シャープ」)製で、2015年7月中旬にソフトバンク株式会社(本社:東京都港区、社長:宮内謙)から発売される新型スマートフォン「AQUOS CRYSTAL 2」の前面パネルに採用されました。植物由来のエンジニアリングプラスチックがスマートフォンの前面パネルに使用されるのは世界で初めてとなります。

スマートフォンの前面パネルの多くはガラス製で衝撃に弱く割れやすいという課題を抱えていることから、ガラス代替としてアクリル樹脂やポリカーボネートなどのプラスチックの採用が昨今検討されております。また、プラスチックはガラスより軽量であり、デザインの自由度も高いとされております。しかしながら、従来のプラスチックは、光学特性が良くても衝撃に弱く割れやすかったり、耐衝撃性に優れていても光学的な歪みが発生するなど、スマートフォンの前面パネルとしての使用は一部にとどまっております。

当社が開発した DURABIO®は、再生可能な植物由来のイソソルバイドを原料とするバイオエンブレで、耐衝撃性・耐熱性・耐候性などにおいて、従来の一般的なエンブレに勝る、優れた性能を有しています。さらに、透明性が高く、光学的な歪みもないという特長を有しております。

今般、シャープから DURABIO®の耐衝撃性に優れ、光学特性の良さを兼ね備えたプラスチックとしての性能が評価され、DURABIO®が「AQUOS CRYSTAL 2」の前面パネルに採用されました。

当社は高機能製品の研究開発を行い、環境にやさしく付加価値の高い製品づくりに今後も貢献してまいります。

以上

本件に関するお問合せ先 (株)三菱ケミカルホールディングス 広報・IR 室 電話: 03-6748-7140
--